

事業所名	アトリエあさおっこ		支援プログラム		作成日	7年	3月	3日
法人（事業所）理念	「自分らしく」をモットーに、将来社会参加をした際に「困った」を少しでも軽減できるよう、将来を見据えながらも「今」を大切に育みます。							
支援方針	就学に向けての学習準備と、創造性を育む創作活動を通して、社会性やコミュニケーションスキルを育てます。 また、家庭支援やご利用の他事業所や療育センターとの連携も意欲的に行い、当事業所のみならずトータルでお子様を支援しています。							
営業時間	10時	0分	から	17時	0分	まで	送迎実施の有無	あり なし (幼稚園のみ。家庭への送迎は不可)
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	来所時の検温や普段の様子と変わりがないかなどを確認し、健康状態の把握に努めています。 昼食持参の際に食具の正しい使い方や、食べ方、食事のマナーなどを支援しています。 また、衣類の着脱や畳み方等の日常生活に於ける必要動作を一緒に行う事で、習慣化する事が出来るよう支援しています。						
	運動・感覚	公園での遊具遊びや、ルールのある遊び(鬼ごっこ等)を通じて、体の動かし方やボディイメージを覚え、思い通りに体を使いこなす事が出来るように支援しています。 感覚過敏のお子様や感覚鈍麻のお子様の把握に努め、環境整備や工程の調整など1人1人に適した支援を行っています。						
	認知・行動	認知機能の向上の為、つまむ、押す、落とす、ゴムを引っ掛ける、ペンを握るといった動作を段階的に行っています。 就学準備としてスムーズに学習に取り組む事が出来るよう手指機能訓練から文字の読み書きや数字、計算へと移行できるプログラムとなっています。 多動や行動障害に対して何が原因で行動が起きているのかをしっかりと観察及び把握をし、個別にどのように支援すべきかを検討した上で見通しを立てたり、お声掛けをする事で落ち着いて過ごす事が出来るように支援しています。						
	言語 コミュニケーション	対大人とのコミュニケーション、または対お子様同士のコミュニケーションなど、相手やシチュエーションが異なる事でどのように対応が変わるのか。 また、言語理解が未発達なお子様に対しては、絵カードや文字カードを提示する事で意思の疎通を図り、語彙向上やスムーズなやり取りが行えるように支援しています。						
	人間関係 社会性	集団への参加が難しいお子様にはまずはスタッフと1対1の対応から始め、2人3人へと少しずつ他者との関りを増やしていくようにしています。 小集団の中で、ご家族様とは違う関りを沢山持つ事で、様々な問題に直面した際、どのように対処するべきなのかを身に付けられるように支援しています。 最終的にはお子様同士だけで楽しい時間を過ごしてもらう事を目標に支援を行っています。						
家族支援	ご家庭内でのお困りごとや、幼稚園や保育園または他事業所様でのお困りごとなど、ご家族様のご負担やストレスを少しでも軽減する事が出来るよう最大限考慮し、随時ご相談をお受けできるような体制を整えております。	移行支援	事業所内で行った事を、幼稚園/保育園またはご自宅でも同じように行う事が出来るよう、通園先やご家族様と随時情報共有を行い、日々の状態把握に努めております。					
地域支援・地域連携	療育センター・他事業所・相談支援・通園先等、必要に応じて連携を行い、ご家族様を含めトータルで支援方針を決め、生活に関わる機関全体で同じ支援を行う事が出来る体制を整えております。	職員の質の向上	毎月の研修や事業所内MTGの実施。また、個別面談を行い全体での問題解決、個別での問題解決を行い、スタッフ全員が同じ意識を持ちお子様の支援が行えるようにしています。					
主な行事等	長期休みには、商業施設内の遊び場に外出したり、お弁当やおやつを持って地域の公園や名所にお花見に行く事もあります。また、季節にまつわる工作や1週間かけてみんなで少しずつ完成させる段ボールハウス制作など、協力しながら1つの物を完成させる事で協調性を養い、達成感を感じる事が出来るようにしています。 また春分の日にはおはぎを作ったり、中秋の名月にはお団子を作ったりとクッキングを通して食べられる物を増やしていく取り組みも行っております。							